

昨日の開始時には「何を言っているのか分からない」と言っていた生徒たちも、午後の校外活動で他国の生徒との仲も深まり、下校時には笑顔で "See you !"と言葉を交わせるようになっていました。



今日からは昨日受けた **Oxford Placement Test** の結果をもとに、中国人・イタリア人・スペイン人との混成クラスでの授業が始まりました。生徒たちが他国の生徒たちに "Nice to meet you AGAIN !"と声をかける姿を見て、この研修が順調に軌道に乗り始めていることを実感しました。

午前の授業では基本的な動詞の時制や疑問文について学んでいました。日本人は他国の生徒に比べて授業では積極性に欠けるとよく言われますが、万代高校の生徒たちも例外ではありませんでした。ペアワークやグループワークでも先頭に立って行動することがなかなかできませんでしたが、少しずつ「何とかしなければいけない」という意識が出てきたようです。昼食の時間には授業について情報を交換し、互いにアドバイスをを行っていました。

午後は Ipswich (Bury St Edmunds からバスで 50 分)で校外研修を行ないました。まず訪れたのは Ipswich Museum で、ここでは Ipswich の生物学的・文化的な歴史に触れてきました。また、古代エジプトの特別展示室もあり、大英博物館から借りてきたミイラの棺や黄金マスクを目にすることができました。



その後は他国の生徒や本校生徒の要望により、1時間程度の **Shopping time** を設けてもらいました。ここで感心したことは、本校生徒の行儀良さと、時間通りの行動をしていることでした。現地の先生が指示を出す時はそちらの方に向けてしっかりと聞き、集合時間も 5 分前には揃っており、BLS の Mike 先生と添乗員の梶田さんからもお褒めの言葉をいただきました。他国の生徒たちとの交流にも慣れてきて、自分たちから声をかける姿も多く見られるようになりました。

(報告者:渡邊大介)